（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ぐるっと巡ろう！塩尻・山形・朝日サイクルツーリズム推進事業
事業主体 （連絡先）	ぐるっと巡ろう！塩尻・山形・朝日サイクルツーリズム推進協議会 （事務局：一般社団法人塩尻市観光協会（0263-54-2001））
事業区分	（6）ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	５，６４９，３０９円（うち支援金：４，１６６，０００円）

事 業 内 容

ワークショップを開催し、地域の人しか知らない魅力の拾い出し、それらの魅力を入れ込んだサイクルルートを設定した。また、サイクリスト・ツーリストどちらにも受容しやすいよう、電子媒体でサイクルマップを作成した。

都市部をはじめ、松本市・安曇野市にてすでに導入されている、「HELLO CYCLING」を導入し、自転車を活用して周遊観光のできるサイクル環境の整備を行った。また、ヘルメットの需要に対応するため、設置したサイクルポートのうち窓口のある３ヵ所で貸し出しできるよう配備した。

【ワークショップ】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【目標・ねらい】

① ワークショップの開催
② マップの作成
③ シェアサイクルの利用回数

①　地域の人が主体的にマップ作成にかかわり協力することで、サイクリスト・ツーリストを歓迎する雰囲気づくりのきっかけとなった。（１市２村でそれぞれ２回ずつ開催）

②　電子媒体でのサイクルマップを作成し、今後、自転車の利用促進・周知に活用していく。

③　シェアサイクルを基盤としたサイクル環境の整備として「HELLO CYCLING」を導入し、サイクルポート６ヵ所、それぞれ３～８ラック合計４０ラック、自転車２０台、ヘルメット２０個を設置・配備した。

※自己評価【　A　】

【理由】
・シェアサイクルを導入している周辺地域の利用実績をもとに設定した目標には達した。
（設定目標：５００回）
（実績数値：５４２回）

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和５年度においては、導入初年度であり、今後の指標としていく。

実施して出てきた課題である「HELLO CYCLING」導入の周知、ステーションのパンク、地域人材のさらなく発掘・育成について対策をしていく。

イベントや広報活動にて周知を行う。またより広範囲に効果的にステーションを増設し、利用者の利便性、認知度向上を図る。同時にステーションのパンク緩和を見込む。

イベントを通して地域人材に自治体及び観光協会の経験や知識を学んでもらい、地域人材を核としたコミュニティーを組成し、先の長い取り組みにつなげていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある